

2019年3月期 決算説明会資料

2019年5月15日

日本製紙株式会社



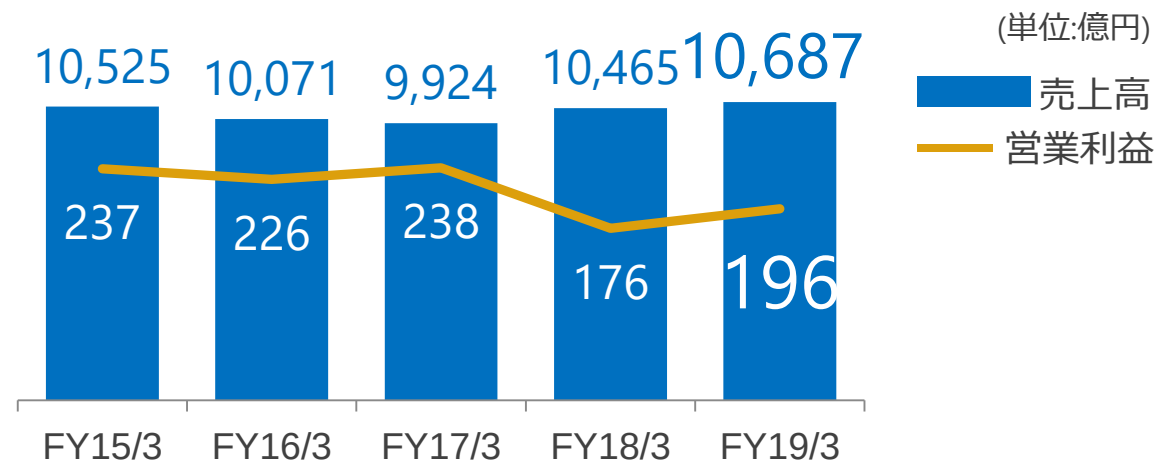
とともに未来を拓く

連結損益概要

(単位：億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,465	10,687	222	2.1%
営業利益	176	196	20	11.4%
経常利益	186	239	53	28.2%
当期純利益*	78	▲352	▲430	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益



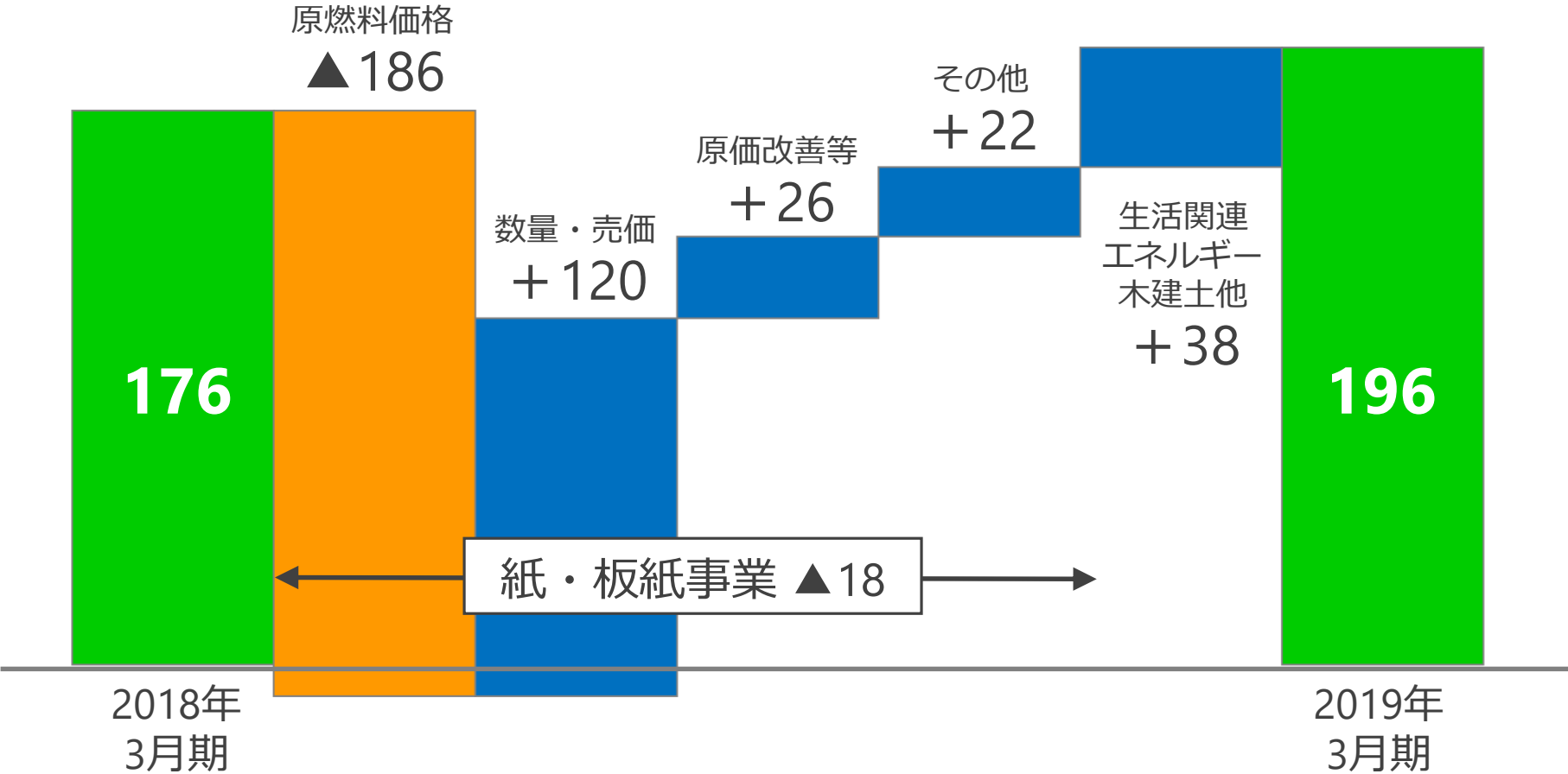
セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	前年 同期比	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	前年 同期比
紙・板紙	7,417	7,385	▲32	▲63	▲81	▲18
生活関連	1,925	2,017	92	120	116	▲4
エネルギー	178	362	184	41	79	38
木材・建材・ 土木建設関連	628	598	▲30	45	49	4
その他	317	325	8	33	33	0
合計	10,465	10,687	222	176	196	20

営業利益増減要因

(単位：億円)

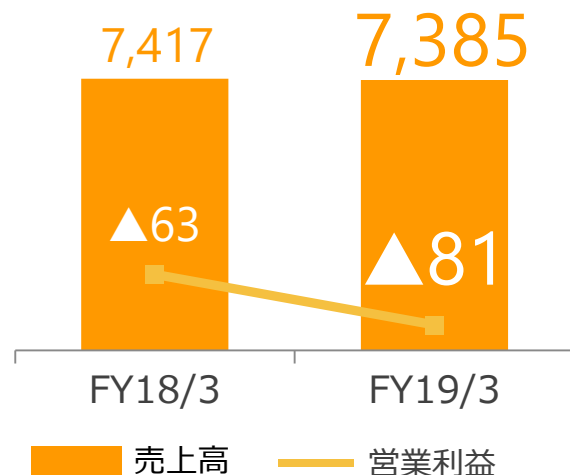


<期初計画> (2018年5月公表)

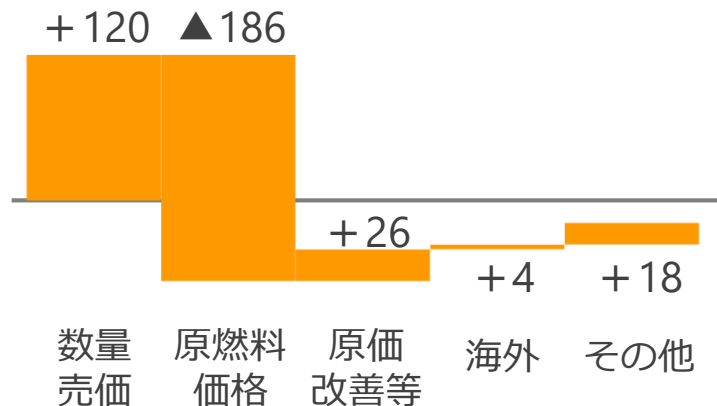
176	原燃料価格 ▲97	数量・売価 +55	原価改善等 +41	その他 +33	生活関連他 +42	250
-----	--------------	--------------	--------------	------------	--------------	-----

紙・板紙事業

売上高・営業利益（億円）



営業利益増減要因（億円）



○国内事業（洋紙）

新聞の発行部数減少や印刷用紙の広告需要低迷などで国内販売数量は低調に推移。輸出製品は、価格修正の効果が発現。

○国内事業（板紙）

国内販売数量は、前年同期を下回ったが、輸出製品は、アジア向けを中心に需要が好調で、輸出販売数量は前年同期比で4%増加。

○海外事業

十條サーマルは、価格修正の効果が発現。一昨年売却した日本製紙USAの影響もあり、前年同期比で増益となった。

洋紙・板紙販売数量

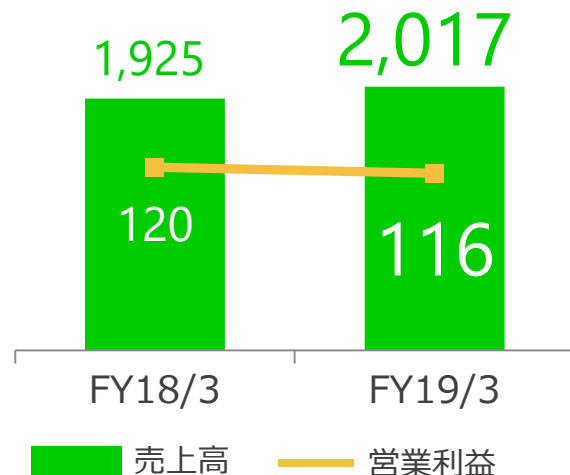
(単位：千 t)

	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比
新聞用紙	974	904	▲7.2%
印刷用紙	1,640	1,574	▲4.0%
情報用紙	490	494	0.7%
その他	378	375	▲0.7%
国内	3,482	3,347	▲3.9%
輸出	456	402	▲11.8%
洋紙合計	3,938	3,749	▲4.8%
段ボール原紙	1,698	1,683	▲0.9%
紙器用板紙他	368	369	0.3%
国内	2,066	2,052	▲0.7%
輸出	194	203	4.4%
板紙合計	2,260	2,255	▲0.2%
洋紙・板紙合計	6,198	6,004	▲3.1%

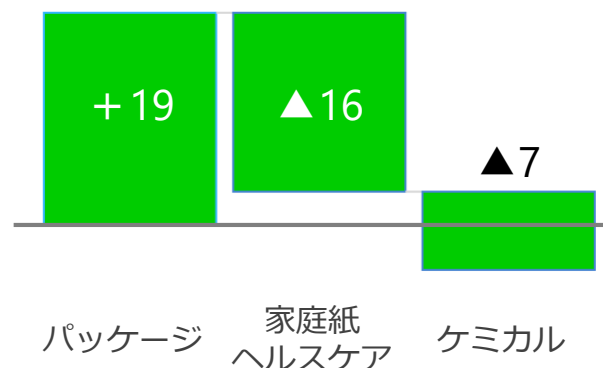
* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

生活関連事業

売上高・営業利益（億円）



営業利益増減要因（億円）



○パッケージ

国内の液体用紙容器は、充填機の販売台数が前年同期を上回り、増収となったが、原材料価格の上昇が影響し、営業利益は前年同期を下回った。

日本ダイナウェーブパッケージングは、堅調に推移し、増収増益となった。

○家庭紙・ヘルスケア

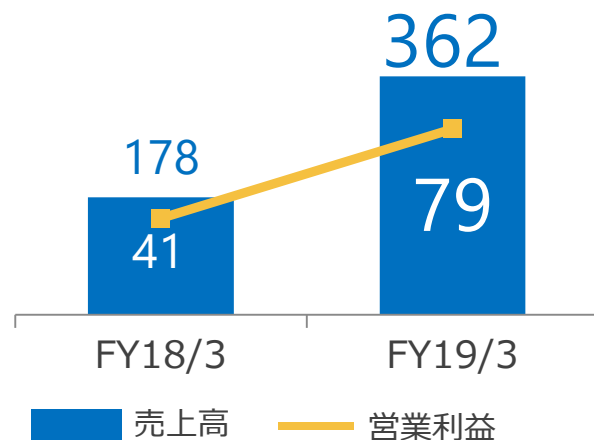
ヘルスケア製品やホテル向け業務用製品などの需要は堅調で、販売数量は前年同期を上回るが、原燃料価格の上昇が影響し、営業利益は前年同期を下回った。

○ケミカル

機能性コーティング樹脂や機能性セルロースの需要は堅調だったものの、溶解パルプや機能性フィルムの販売数量は前年同期を下回った。原燃料価格上昇の影響もあり、減収減益となった。

エネルギー事業

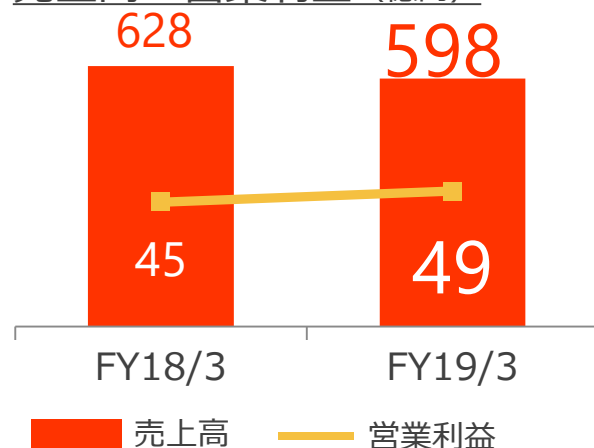
売上高・営業利益（億円）



2018年3月に営業運転を開始した日本製紙石巻エネルギーセンターの発電所は順調に稼働中。前年同期比で増収増益となった。

木材・建材・土木建設関連事業

売上高・営業利益（億円）



日本製紙木材は、新設住宅着工戸数が弱含みで推移したことや、製材品や建材品などの販売数量が前年同期を下回ったこともあり、減収減益となった。AMCELは、欧州向けの販売比率が高まり、増益となった。

連結貸借対照表

(単位：億円)

	2018年3月末	2019年3月末	前年同期比
資産の部合計	14,299	13,908	▲ 391
現預金	590	635	45
棚卸資産	1,659	1,779	120
その他流動資産	2,656	2,740	84
有形・無形固定資産	7,318	6,888	▲ 430
投資その他の資産	2,076	1,866	▲ 210
負債の部合計	9,865	9,955	90
有利子負債	6,936	6,887	▲ 49
その他負債	2,929	3,068	139
純資産の部合計	4,434	3,953	▲ 481
うち株主資本	3,934	3,551	▲ 383
負債および純資産合計	14,299	13,908	▲ 391
純有利子負債	6,346	6,252	▲ 94
ネットD/Eレシオ	1.61	1.76	0.15

連結キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比
営業活動によるキャッシュフロー	449	598	149
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 627	▲ 475	152
フリーキャッシュフロー	▲ 178	123	301
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 125	▲ 67	58
その他	▲ 13	▲ 11	2
現金及び現金同等物の増減額	▲ 316	44	360
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減額	1	0	▲ 1
現金及び現金同等物の期末残高	590	635	45
減価償却費	579	604	25
設備投資額	728	603	▲ 125

連結損益概要

(単位：億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,687	11,200	513	4.8%
営業利益	196	300	104	52.9%
経常利益	239	280	41	17.1%
当期純利益*	▲352	130	482	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

主要な前提条件

原燃料価格	古紙	2018年度実績並み
	原油	70ドル／バレル（ドバイ）
	石炭	95ドル／t（豪州炭ベンチマーク価格）
為替	米ドル	112円／ドル

セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年 同期比	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年 同期比
紙・板紙	7,385	7,640	255	▲81	44	125
生活関連	2,017	2,230	213	116	119	3
エネルギー	362	350	▲12	79	66	▲13
木材・建材・ 土木建設関連	598	640	42	49	46	▲3
その他	325	340	15	33	25	▲8
合計	10,687	11,200	513	196	300	104

洋紙・板紙販売数量見通し

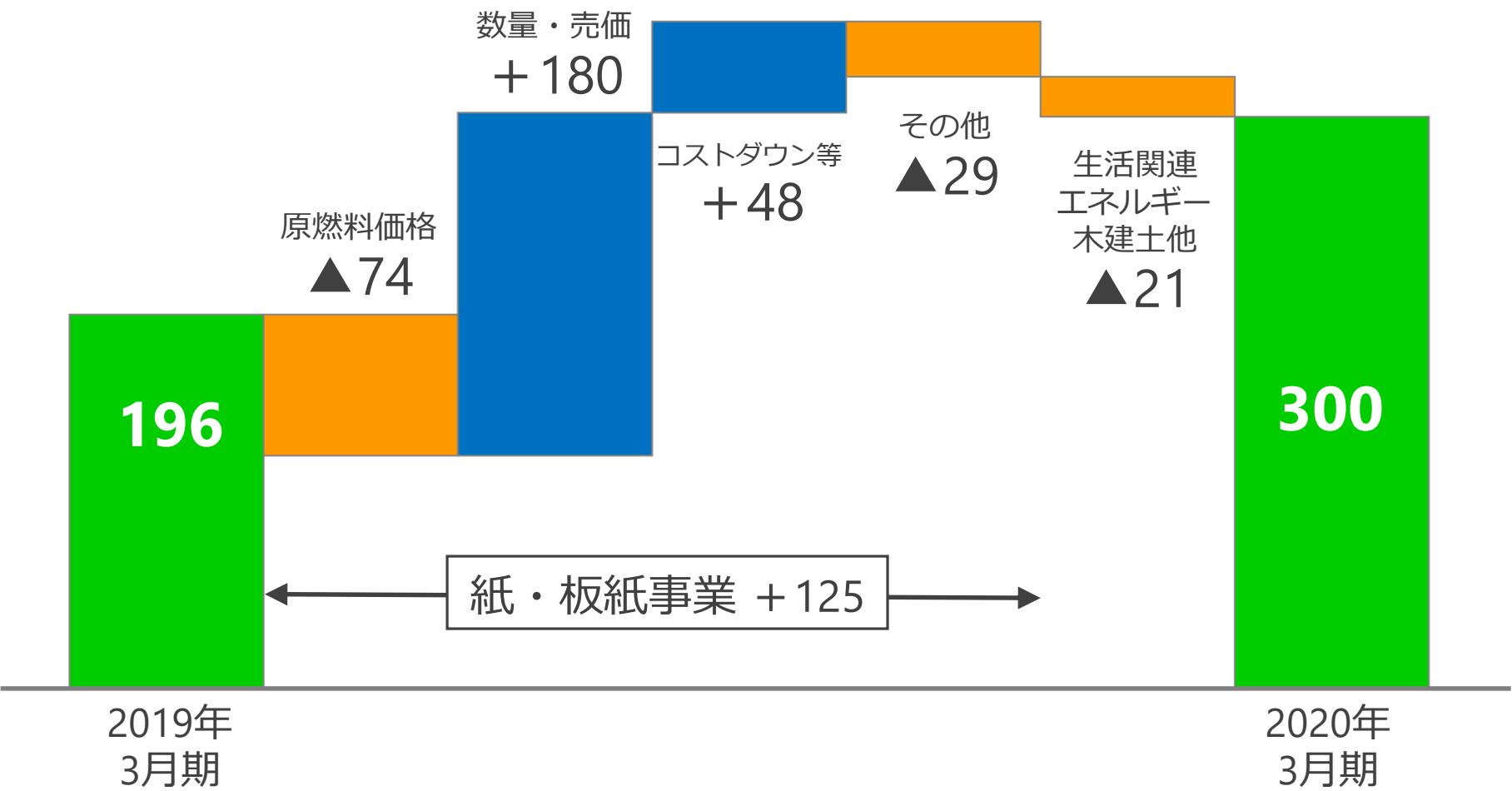
(単位：千 t)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	前年同期比
新聞用紙	904	824	▲8.9%
印刷・情報用紙	2,068	1,993	▲3.6%
その他	375	377	0.5%
国内	3,347	3,194	▲4.6%
輸出	402	402	▲0.1%
洋紙合計	3,749	3,595	▲4.1%
国内	2,052	2,094	2.0%
輸出	203	215	6.0%
板紙合計	2,255	2,309	2.4%
洋紙・板紙合計	6,004	5,904	▲1.7%

※日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙を除く）

営業利益増減要因

(単位：億円)



参考資料

日本製紙株式会社



とともに未来を拓く

主要指標

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高営業利益率	2.2%	2.2%	2.4%	1.7%	1.8%
売上高経常利益率	2.2%	1.7%	2.7%	1.8%	2.2%
設備投資額（億円）	485	469	513	728	603
減価償却費（億円）	614	577	551	579	604
EBITDA（億円）※1	871	831	815	781	825
純有利子負債（億円）	6,477	5,913	5,880	6,346	6,252
ネットD/Eレシオ （純有利子負債資本比率）	1.55	1.47	1.49	1.61	1.76
正規従業員数（人）	12,771	11,741	13,057	12,881	12,943
一株当たり純利益(円)	200.27	20.95	72.57	67.80	-304.34
一株当たり配当金(円)	50	60	60	60	30
総資産利益率（ROA）※2	2.2%	2.0%	2.6%	1.8%	2.2%

※1： EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 受取配当金 + 受取利息

※2： ROA = （経常利益 + 支払利息） / 総資産

紙・板紙の内需と輸出

<2019年3月期 国内メーカー実績>

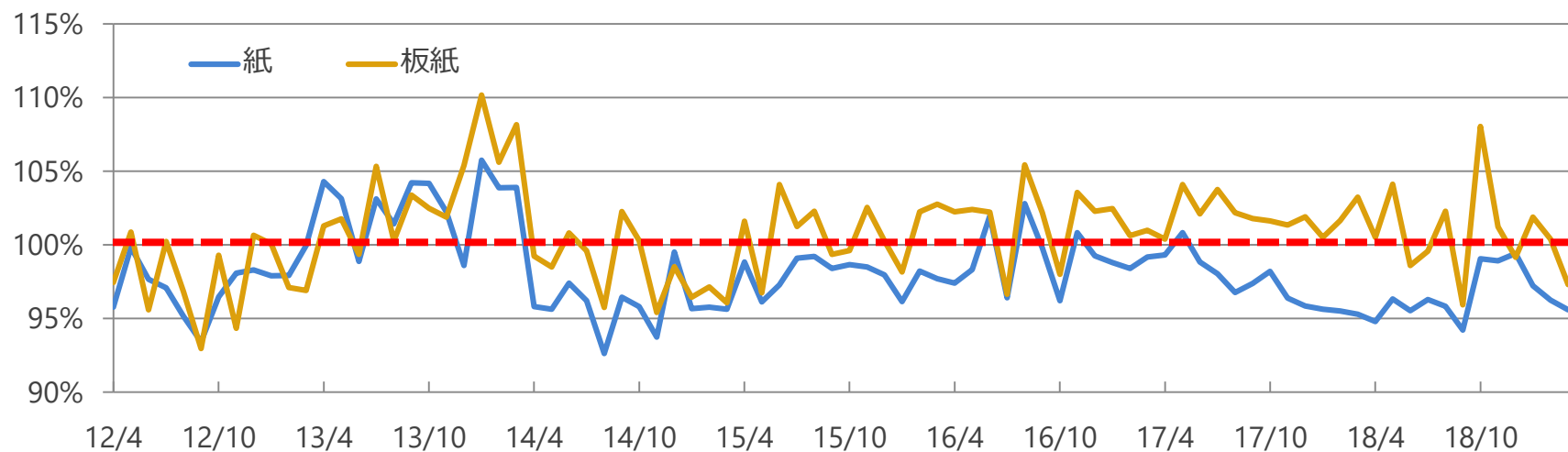
(数量：千t)

	国内出荷高(A)		輸出(B)		合計 (A+B)		輸入(C)		内需(A+C)	
	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)
新聞用紙	2,545	▲7.2%	0	—	2,545	▲7.2%	2	▲75.6%	2,547	▲7.5%
印刷・情報用紙	7,133	▲3.1%	773	2.9%	7,905	▲2.5%	705	▲24.5%	7,838	▲5.5%
塗工印刷用紙※	3,958	▲5.6%	555	▲5.0%	4,513	▲5.5%	213	▲34.8%	4,171	▲7.7%
非塗工印刷用紙	1,820	▲1.9%	183	40.5%	2,003	0.9%	43	▲63.2%	1,863	▲5.5%
情報用紙	1,355	3.4%	34	▲5.3%	1,389	3.2%	449	▲8.2%	1,804	0.2%
その他	3,217	▲0.9%	324	2.1%	3,541	▲0.6%	44	▲6.7%	3,261	▲0.9%
洋紙 合計	12,895	▲3.4%	1,097	2.7%	13,992	▲2.9%	752	▲24.1%	13,647	▲4.8%
段ボール原紙	9,270	0.7%	509	▲6.9%	9,778	0.3%	50	16.1%	9,320	0.8%
紙器用板紙他	2,247	0.6%	28	▲0.6%	2,276	0.6%	266	▲0.6%	2,514	0.5%
板紙 合計	11,517	0.7%	537	▲6.6%	12,054	0.4%	316	1.7%	11,834	0.7%
紙・板紙合計	24,412	▲1.5%	1,633	▲0.6%	26,045	▲1.4%	1,068	▲18.0%	25,480	▲2.3%

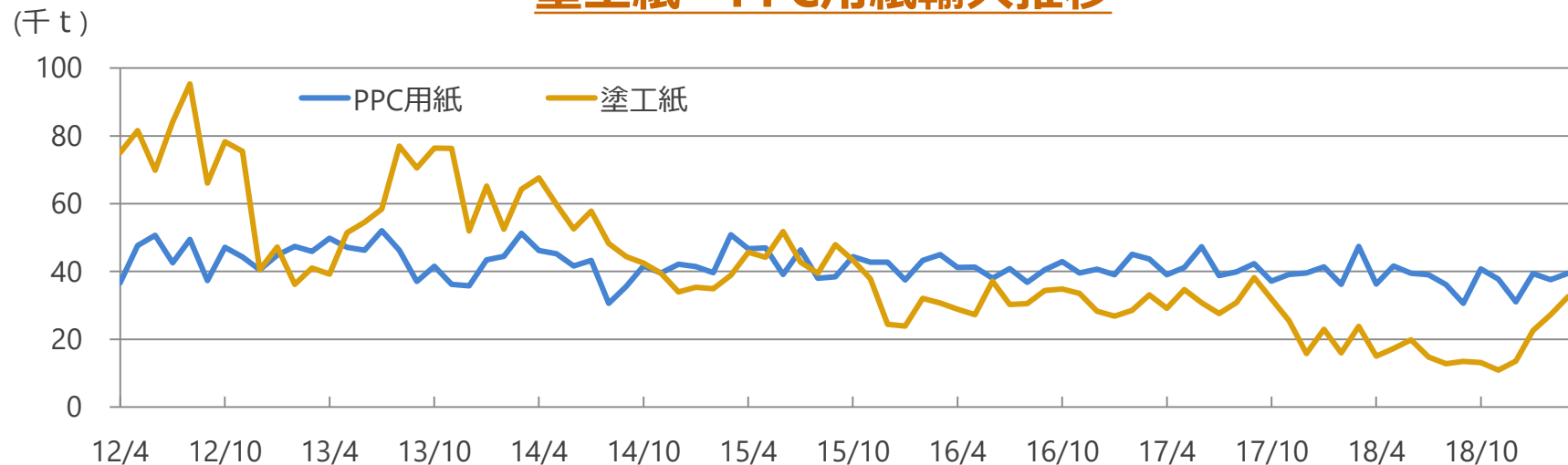
※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

メーカ一国内出荷量（対前年）、塗工紙・PPC用紙輸入推移

メーカ一国内出荷量(対前年)



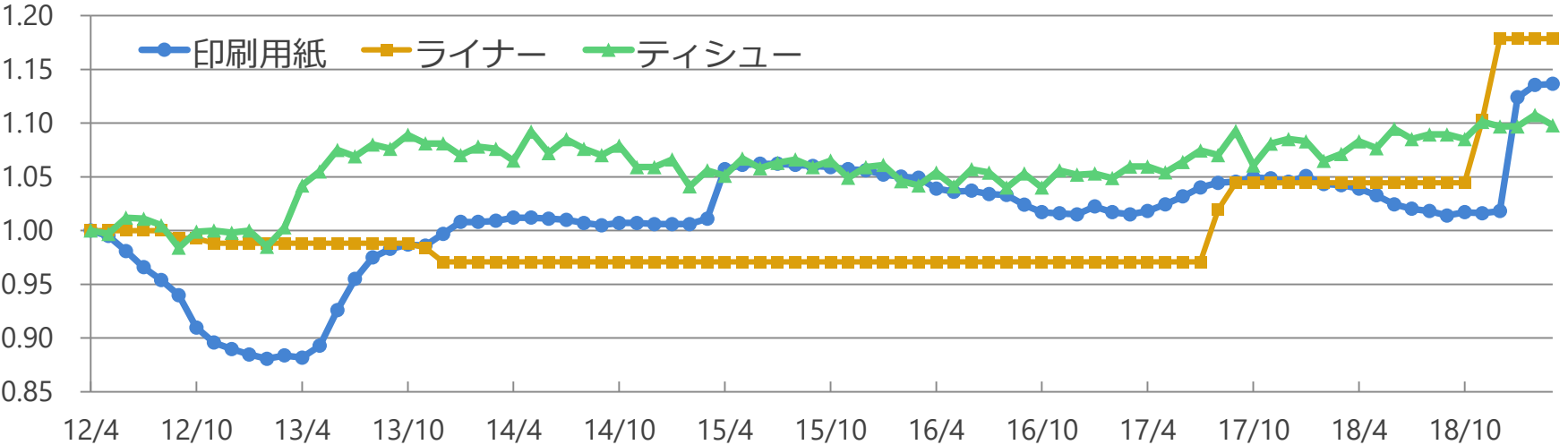
塗工紙・PPC用紙輸入推移



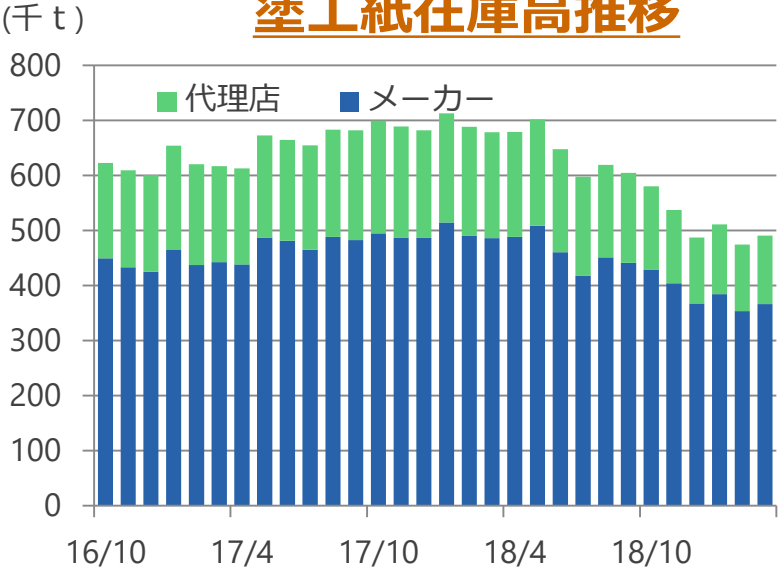
品種別価格動向、塗工紙・段原紙在庫高推移

品種別価格動向

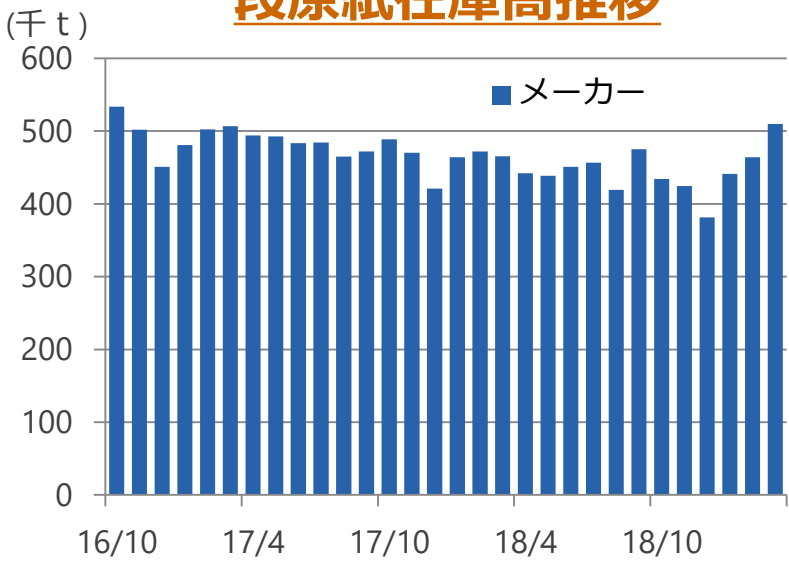
(2012年4月 = 1)



塗工紙在庫高推移



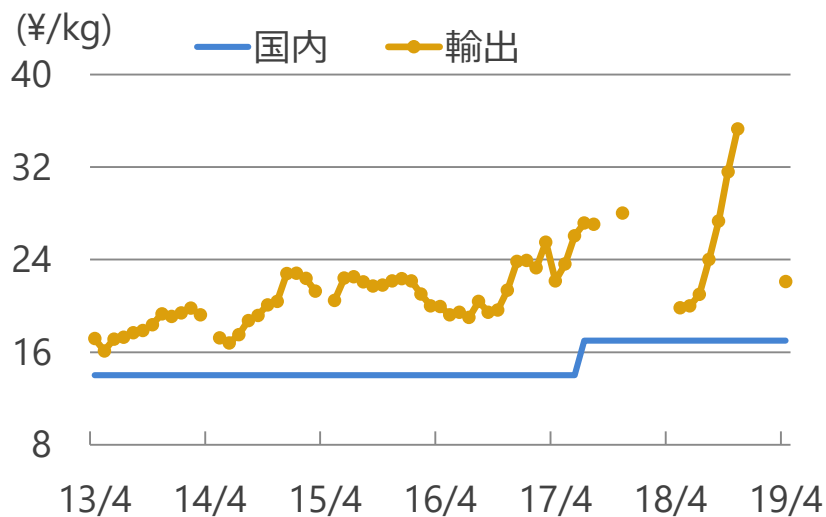
段原紙在庫高推移



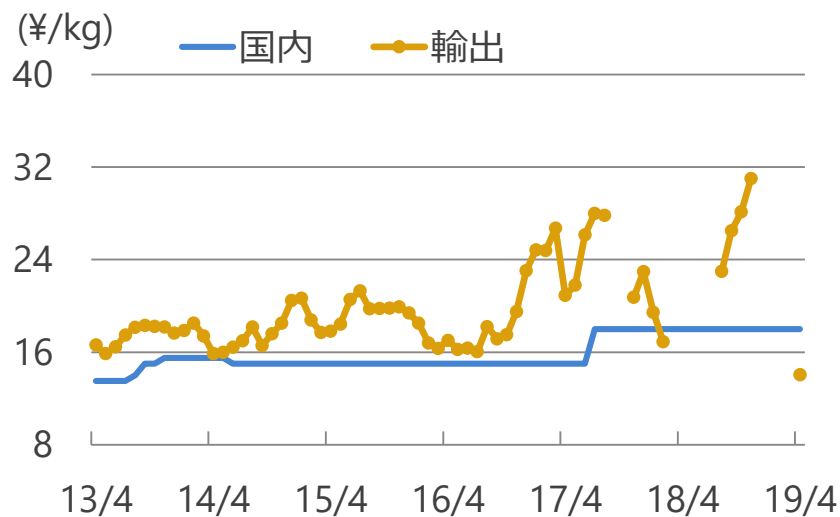
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

(参考) 主要原燃料価格動向

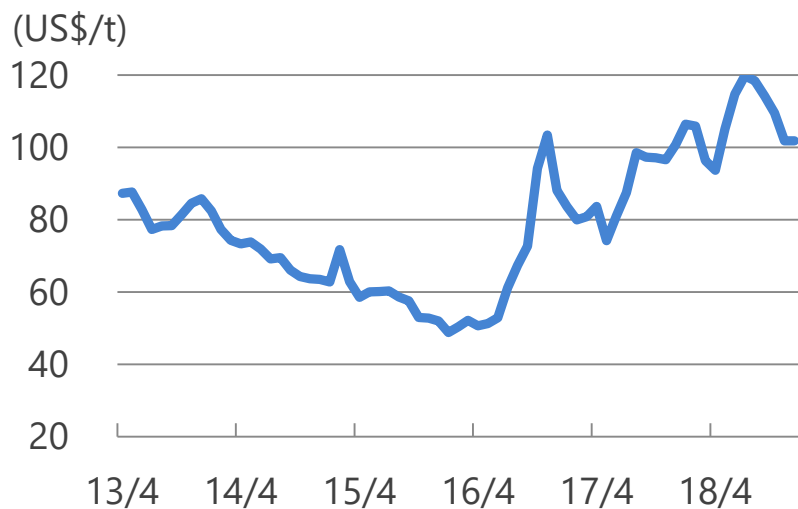
新聞古紙



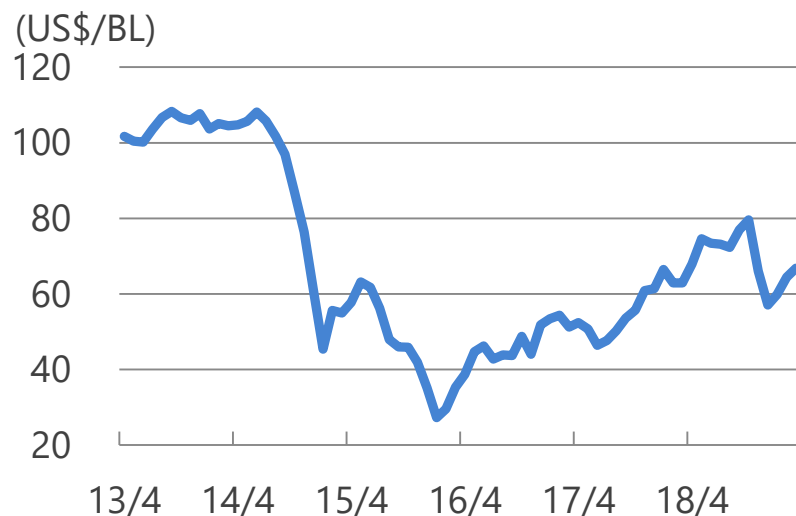
段ボール古紙



石炭



原油



出所：古紙再生促進センター、関東製紙原料直納商工組合、日本経済新聞、Global Coal Index

日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

＜注意事項＞

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社